

実践課題NO.1 設計課題「商店街に建つ陶芸作家のための工房のある店舗併用住宅〔鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建〕」

1. 設計条件

- 商店街に建つ工房のある陶芸品店併用住宅を計画する。
 計画に当たっては、次の点に留意すること。
 ①店舗部分と住宅部分は、出入口を明確に分離し、屋内の1階部分で行き来できるようにする。
 ②店舗部分の売場は、
 ・道路側に配置し、吹抜を設ける。
 ・工房に隣接させて設け、相互のつながりを配慮する。
 ③屋外販売スペースを設け、気軽に立ち寄れる空間となるよう配慮する。
 ④2階部分の屋根を利用してルーフガーデンを設け、3階の居間と一体的に利用できるようにする。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
 イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
 ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
 エ. 地形は平坦で道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
 オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。
 イ. 建築物の最高の高さは、10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。

(3) 延べ面積

必ず「240㎡以上、270㎡以下」とする。
 (ピロティ、玄関ポーチ、ルーフガーデン、屋外作業テラス、屋外販売スペース、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。)

(4) 家族構成

夫(会社員)、妻(陶芸作家)、子供1人(女子中学生)

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

室名	設置階	特記事項	
店舗部分	売場	1階	ア. 25㎡以上とし、吹抜を設ける。 イ. 床は、土間コンクリートとする。 ウ. 作品を陳列する棚を設ける。 エ. レジカウンターを設ける。 オ. 工房と直接行き来できるようにし、売場から工房を見学できるようにする。
		工房	ア. 30㎡以上とする。 イ. ミニキッチン(1,200mm×600mm)を設ける。 ウ. 作業台(1,800mm×900mm)を設ける。 エ. 電動ろくろ(500mm×600mm)、ろくろ作業台(300mm×800mm)、椅子を設ける。 オ. 乾燥棚(1,500mm×800mm)を設ける。 カ. 道具棚(1,500mm×600mm)を設ける。
	焼成室	ア. 15㎡以上とし、工房から直接行き来できるようにする。 イ. 電気窯(1,500mm×1,000mm)を設ける。 ウ. 完成品の保管棚(1,800mm×800mm)を設ける。	
	倉庫	・4㎡以上とし、工房から直接利用できるようにする。	
	便所	・広さは適宜とする。	
住宅部分	玄関	・下足入を設ける。	
	夫婦室	2階	・洋室17㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	子供室		・洋室15㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	書斎		・洋室8㎡以上とする。 ・吹抜に面して配置し、売場が見えるよう窓を設ける。
	便所		・広さは適宜とする。
	台所	3階	ア. 洋室17㎡以上とする。
	食事室		イ. 1室にまとめる。
	居間		・洋室25㎡以上とする。
浴室	・4㎡以上とする。		
洗面脱衣室	・4㎡以上とする。		
便所	・広さは、心々1,500mm×1,500mm以上とする。		
その他	2階部分の屋根に25㎡以上のルーフガーデンを設ける。		

(6) 階段、エレベーター

- ア. 建築物に、2以上の階段を設ける必要はない。
 イ. 住宅部分に、1階から3階に通ずるエレベーターを1基設ける。
 ・エレベーターシャフトは、心々1,500mm×1,500mm以上とする。
 ・駆動装置はエレベーターシャフト内に収まるものとし機械室は設けなくてよい。

(7) 屋外スペース、駐車・駐輪スペース

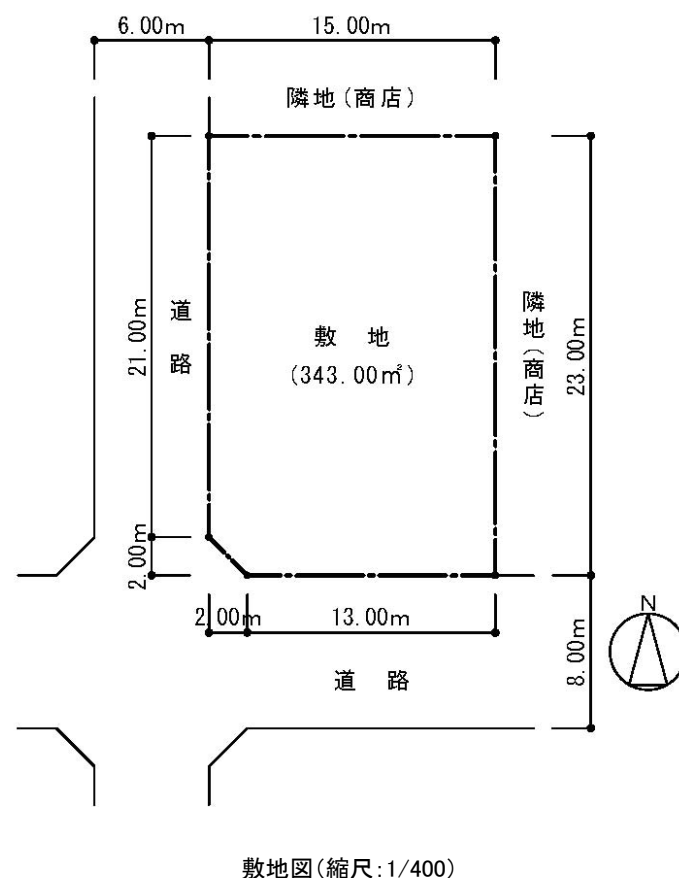
屋外に、下表のものを計画する。

名称	特記事項
屋外販売スペース	ア. 15㎡以上とし、外部から入れるようにする。 イ. 売場および工房と関連づける。
屋外作業テラス	・15㎡以上とし、焼成室から直接行き来できるようにする。
駐車スペース	・小型乗用車3台分(客用2台、住宅用1台)を設ける。
駐輪スペース	・自転車7台分(客用5台、住宅用2台)を設ける。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。
 b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
 c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。
 d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 道路から玄関へのアプローチ、屋外販売スペース、屋外作業テラス、駐車スペース、駐輪スペース、門、塀、植栽、玄関ポーチ、スロープ等を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 店舗部分には、次のものを記入する。 ・売場に、棚、レジカウンター ・工房に、ミニキッチン、電動ろくろ、ろくろ作業台、椅子、棚 ・焼成室に、電気窯、棚 ・便所に、便器 オ. 住宅部分の玄関に、下足入を記入する。 カ. 断面図の切断位置を記入する。
(2)2階平面図 (1/100)	ア. 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 室名を記入する。 ウ. 住宅部分には、洋式便器を記入する。 エ. 1階の屋根伏図(平家部分がある場合)も記入する。 オ. 断面図の切断位置を記入する。
(3)3階平面図 (1/100)	ア. 建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 室名を記入する。 ウ. 住宅部分には、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等)、浴槽、洗面台、洗濯機、洋式便器を記入する。 エ. 2階の屋根伏図(平家部分がある場合)も記入する。 オ. 断面図の切断位置を記入する。
(4)立面図 (1/100)	・南側立面図とする。
(5)断面図 (1/100)	ア. 切断位置は、1階の売場と工房を含み1階・2階・3階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形及び床面、天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、スラブ、地中梁)を記入する。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、2階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
(6)面積表	ア. 建築面積、各階床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 数値は小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(7)仕上表	ア. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ. 内部(売場)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。
(8)主要構造部材表	ア. 主要な柱及び2階床大梁寸法を記入する。 イ. 主要な外壁及び2階床スラブの厚さを記入する。



敷地図(縮尺:1/400)